

### 消防装備・資格について

**(質問)** 消防車両の運転資格について、平成29年3月12日改正道路交通法に基づき、「準中型免許」が新設され、改正後に取得した普通免許では、3.5トン以上の車両を運転できなくなった。これにより、特に若手団員の運転者の確保が難しくなることから、総務省消防庁は、今後市町が免許取得の助成制度を確立、創設した場

合は地方財政措置を検討しているが、本市の対応について、常備消防への対応を併せて問う。

**(答弁)** 現在、消防団員については、本市における助成制度創設に向けて、他市に遜色ないような体制の構築を目指し、若手団員の安定確保と、安全教育に一層の充実を図る。常備消防については、大型免許取得にのみ公費負担しているが、今後、中型免許取得についても検討していく。

その他の質問 ○高齢者送迎対策の財源について  
○保育所運営について

### 高齢者の生活交通について⑤

**(質問)** 高齢化時代の公共交通サービスについて、何人もの議員が一般質問で取り上げているが、答弁では、多くの市民の方が求めている新たな交通サービスとはほど遠い内容で検討されている。駅やバス停まで1 kmも歩いて行けないという高齢者の声を真剣に検討すべきである。市内公共交通網の将来像イメー

ジで示された「周辺エリアにおいて、小規模な交通需要に対応できる公共交通システムの構築を目指す」ことが絵に描いた餅に終わっている。早急な検討を求める。

**(答弁)** 高齢者が歩いてバスを利用しようと思う距離は何mか、高齢者の声も聞き、新しい移動手段を考える上で、さまざまなシミュレーションを今年度に行う。

皆さま方からご意見を頂戴しながら、その時代やニーズに応じた交通政策を検討していきたい。

### 学校図書館の整備について

**(質問)** 学校図書館に司書が配置されている学校の方が、読書量が多く、貸出冊数も大きく増加している。現在、県下の他市では、学校図書館司書を1校に週1回か2回巡回派遣しているが、本市は年間5回の巡回派遣と恥ずかしい水準である。児童生徒の読書活動を支える学校図書館の役割を十分発揮するため

に、各学校への専任の図書館司書の配置と、当面は他市の水準まで改善することを求める。

**(答弁)** 子どもたちの読書に対する興味や関心を一層育み、読書習慣を確立していくためにも、司書の果たす役割が大きいことを実感している。学校図書館司書あるいは読書アドバイザーなどの人的配置について、もう少し具体的に市と教育委員会がしっかり議論し、何とか実行できるように努力していきたい。

その他の質問 ○介護予防教室送迎費補助について  
○子ども医療費助成の所得制限廃止を

### 鈴鹿の山歩きルートへの整備について

**(質問)** 鈴鹿市民がもっと鈴鹿の山に親しみ、楽しんでもらえるように、積極的な施策を求める。最近では、林業の不振や気候変動による大雨などで、入道ヶ岳などの山道や谷川が荒れてきている。小中学校の遠足や、家族連れに案内しているルートは、安全に歩けるよう整備されたい。

**(答弁)** 小岐須溪谷などの景観・環境を守るために、安全に配慮した整備・維持管理を行いたい。登山者の安全のために最低限の整備は必要であり、関係機関と連携して安全対策を実施していきたい。



入道ヶ岳 井戸谷コース

その他の質問 ○生活保護制度について